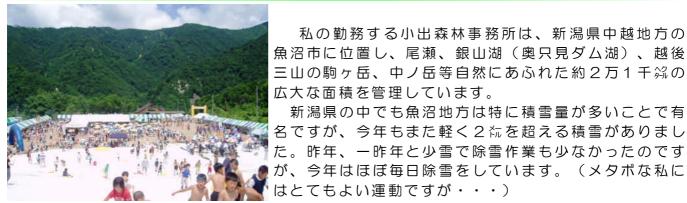
RATED SOUDIE

中越森林管理署 小出森林事務所 森林官 細野 勝男



広大な面積を管理しています。 新潟県の中でも魚沼地方は特に積雪量が多いことで有 名ですが、今年もまた軽く2次を超える積雪がありまし た。昨年、一昨年と少雪で除雪作業も少なかったのです が、今年はほぼ毎日除雪をしています。(メタボな私に はとてもよい運動ですが・・・)

私の勤務する小出森林事務所は、新潟県中越地方の



巡視の途中ちょっと休憩

雪国の生活は不便なことも多いのですが、この地方に とっては雪も貴重な観光資源で、管内にある奥只見丸山 スキー場は、営業期間が12月中旬から正月まで、3月中 旬から5月中旬までと春スキーをメインにした営業をし ており、特に春スキーはブナの芽吹きの頃まで滑れるの で多くのスキーヤーやスノーボーダーが訪れます。

また、銀山平地区では、キャンプ場内に積もった雪を 保温シートを掛けて保存し、毎年7月下旬に開かれる夏 のゆきまつりの折り、会場に約8万トンの巨大な雪山が 作られ、そりや雪遊びを楽しみに大勢の親子、観光客が 来場します。このおまつりでは、当署も木工教室を開き、 木の葉のバッチ、自然木の枝でマイ箸作り等を行い、来

場者から好評を得ています。

管内の国有林は、大部分がブナなどの広葉樹林であり、多 種多様な生物が生息していますが、その中でも特に私が紹介 したいのは北ノ又国有林内を流れる北ノ又川の大イワナです。

釣り好きでこの地によく訪れていた、作家の故開高健が愛 した川として知られていますが、 その開高さんの呼びかけ がきっかけとなり、銀山湖の種川として昭和56年、永年禁漁 河川に指定されました。また、全国的に見ても珍しいことで すが漁場監視員が川のそばの監視小屋に泊まり込みで常駐し、 昼夜を問わず密猟者から魚を守っており、このため、非常に 多くの魚が生息しています。

8月のお盆頃になると、銀山湖から大イワナの群れが、秋 の産卵に向けて遡上を始めます。宮ノ渕という少し深い場所 があって、お盆すぎから9月下旬頃まで沢山の大イワナを見 ることが出来ます。また、以前10月頃巡視業務の途中、ひと またぎできるような沢を渡ろうとしたところ、50撃くらいの 大イワナがバシャバシャと飛び出して来てビックリしたこと もありました。

魚の多さ、大きさに感動すると思います。紅葉の頃がシー ズンですので、リバーウォッチング(魚たちを驚かさない程 度に) は如何でしょうか。

このように自然豊かな環境で勤務していますが、その自然 を後世に残さなければいけないと責任を感じています。

国民の財産である国有林を適切に管理し、地域の皆さんと 交流を深め、期待される国有林でありたいと思います。



宮ノ渕の大イワナ



「河は眠らない」開高健記念碑 北ノ又川河畔